

質問4. 所属する学会について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	日本RNA学会
※	日本時間生物学会
※	日本植物学会
※	日本ウイルス学会、日本進化学会
※	日本ウイルス学会
※	比較内分泌学会
※	日本再生医療学会日本肝臓学会肝細胞研究会
※	日本植物学会
※	日本寄生虫学会、日本熱帯医学会
※	寄生虫学会、熱帯医学会、生体防御学会、
※	日本植物学会
※	日本エピジェネティクス研究会、日本蛋白質科学会
※	D-アミノ酸学会
※	日本未病学会
※	薬学会、薬理学会
※	日本薬学会
※	日本エピジェネティクス研究会
※	日本内科学会、日本循環器学会
※	再生医療学会
※	日本再生医療学会
※	日本実験動物学会、日本薬学会
※	日本エピジェネティクス研究会、日本繁殖生物学会
※	日本蛋白質科学会
※	日本エピジェネティクス研究会
※	日本人類遺伝学会日本耳科学会

質問5-2. シンポジウムについて <複数回答可> (テーマが偏っている)

回答者 番号	テーマが偏っている記述
※	例年と比較してワークショップやシンポジウムの数が少ないように感じました(現場に行かずにオンラインで見たためそう感じただけかもしれません)。

質問5-8. シンポジウムについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	音質が一定にならない。演者によってはマイクから遠くで喋っており、聞き取り辛かった。
※	同時発表の複数の演題に興味があることも多いので、後でオンデマンド視聴できるのは大変有難いです。
※	ウェビナーのシステムだと、チャットに質問を書き込まなくてはいけないから大変口頭で質問できないのは、特に英語だとやりづらい書いてる間に終わってしまう質疑応答だけでも言語自由にしても良かったと思う
※	若い人にとってはオンラインの方が、シンポジウム等の大きな開錠でも緊張せずに質問ができるように感じました。
※	パラレルセッションなので、聴講したくてもできないものが複数あった。
※	オンデマンドの演者をプログラムの前半あるいは後半にまとめて欲しかった。海外からの参加したが、時差の関係で非常につらかった。オンデマンドでない発表が固まっていれば、そこだけ集中して当日に聞くことが可能だが、オンデマンドとそうでない演者が混ざっていると、当日全部聞くことになり、非常につらかった。
※	英語のみでの発表、質疑応答では参加者全員にとって十分な理解を得られないのではないかと感じた。

質問6. ワークショップについて <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	聞きたいテーマが同じ時間帯にばかり重なる。一部オンデマンドがあるとはいえ関連テーマは日程を分けてほしい。
※	似ているテーマのワークショップが同じ時間帯にやっていて、残念だった。発表者の場合、片方のワークショップにしかいられないので、時間帯をわけるなど配慮をして欲しかった。
※	議長によって、聴衆からのQ&A質問を全員が見られる場合と、議長が読み上げるだけの場合があった。質問を全員が見られるようにしてもらったほうが、質問内容が理解しやすかった。
※	オンラインでの発表者とオーガナイザーの不測の事態に対するシミュレーションが足りていない。
※	ワークショップの発表時間を揃えてほしい
※	同時発表の複数の演題に興味があることも多いので、後でオンデマンド視聴できるのは大変有難いです。
※	Q&Aがオーディエンスに見えているのかいないのかが、演者にはわかりにくいのと、演者側が質問を見えるようにするのを忘れがちなので、質問は自動的にオーディエンスにも見えるようにしてほしいと感じた。不適切なものだけを、後からリジェクトできれば、荒らしなどにも対応可能だと思う。
※	同上
※	パラレルセッションなので、聴講したくてもできないものが複数あった。
※	同上
※	オンデマンド配信がもう少し多いと良かった
※	質疑応答は日本語可能とするとチャットから質問しやすいと感じた

質問7. 一般演題(ポスター発表)全般について <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	オンラインのポスターは通信状況が悪かった。初日のポスター発表の前半では、音声が聞こえない、画面がフリーズするなどのトラブルがあった。
※	ポスター時間帯にアクセスが集中するのか、ポスターの閲覧に時間がかかった。また、要旨からポスター本体のPDFにアクセスできないのが不便だった。
※	サーバーダウンしている状態に何度かなって、改善する必要があると感じた。
※	あまり多くを回れないので5分程度のフラッシュトークがあればよいと思いました後、ポスター時間になるとサーバーが重たくなりました。ログインするにも何度か通信エラーとなりログインに失敗することがありました。zoomの設定の問題かもしれませんが、ポスターに参加するときにホストの許可が必要だったので面倒でした。シンポジウムのように許可なし参加でき途中からの参加がしにくい。どこが今演者がいるのかわかりにくい。ポスターと発表を同時に開き辛いで、発表の確認などし辛かった。解像度の問題かいくつかデータが見辛かった。
※	現場にいる場合、知り合いではない研究者にも気軽に声をかけることができるが、オンラインの場合知り合いではない個人ページにアクセスするのはハードルが高いように感じた。
※	発表時に聞いている方の様子が分からないため、話すペースやどこをどれぐらい説明するかがつかみにくかった。発表を聞くと、何人の方がそのポスターにいるかわからない。また、zoomという一つの個室に入ってしまうので、あまり気軽に入って話しかけるのが難しいと感じた。
※	ポスターpdfを開けない演題が幾つかありました。特定の研究室のようですが、大変不公平感を感じました。わざとuploadしていないのか、それともHPの不備なのか判断が付きません。ポスター発表前にあらかじめ予習しておきたいのに非常によくないです。学会終了後でもポスター公開期間中に是非改善していただきたいです。
※	実際にはA0ポスターの形式である必要はなかったと思う。zoomを使用するので、普通のスライドを示してもらった方がわかりやすかったと感じた。
※	ポスターセッション、とても良さそうでしたが、時間的に訪ねられませんでした。スママセン。
※	ポスターを流し見るのが困難zoomでの発表形式は良いと思いますが、webがあまり良くなかった目的のポスターまでたどり着くのが煩雑もう少し単純化して欲しい
※	対面の場合、通りすがりで興味あるポスターが見つけれそして質問ができるが、オンラインだとつなぐのも考慮してしまう。ただし、オンラインだからこそ掲示板などで質問がしやすい環境にあると感じた。オンライン故、本当に興味ある人だけがポスターを見に来ると思った。その分、対面時よりポスターを訪れる人は少ない。
※	対面開催の時はポスター全体を常に見渡せるが、オンラインではやや口頭発表と近い状態になるので、内容が多いと全体の把握が難しかった。
※	ふらふら歩いて気になったものに立ち寄りというのが出来ないのは残念
※	オンサイトだとポスターの前に人だかりができてよく見えない・聞こえないという問題があったが、オンラインだとそれが解消されて見やすく聞きやすかった。
※	要旨から、あるいはポスター番号からポスターに飛べなかったのは非常に不便だった。検索機能をもっと充実させて欲しい
※	同日、同時刻に自分と同じ分野の発表があり(似たようなテーマがまとめてあるので仕方がないが)、そのポスターの質問をすることができなかった。(自身がZOOMに繋げている状態だと、他の人のZOOMに参加できない。例年だと、自分のところに質問者がいない時を見計らって、質問に行く。同じ分野なだけにより有益な議論ができる。)
※	プログラムが非常に見にくかったです。例年であれば印刷された冊子にすべての演題が書かれているので、ざっと全体を見て、興味のあるものをピックアップしやすかったのですが、今回そういった冊子やタイトルが一覧になっているようなものがなかったので、興味のある演題を見つけるのが非常に難しかったです。例年のように一覧になっていると、普段は頭にないような演題でも「こんな内容もあるのか」とパッと見て分かったのですが・・・。
※	Zoomを利用したものだ、発表者によってアカウント差(有料・無料)があって、議論中にZoom meetingが切れることが度々あった。
※	質問者や聞いている人の所属・氏名が分からず、得体のしれない人に説明をしないといけないのが嫌でした。またビデオも音声もつけずチャット欄だけで質問をしてくる方などもあり、対応が非常に困難でした。
※	zoomだとゆっくり聞けるのは良いが、一度入ると出にくいので時間中に見れるポスター数が極端に限られる。自分の発表時間に誰も入室しない時間帯は辛い。30分以上誰も来なかったため別のパソコンで他の人のポスターzoomに参加した。1時間誰一人来なかったという話も聞いた。

質問8. 年会会期中の各日のタイムテーブルについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	オンラインだと日常生活の中で対応することが期待されるので、育児をしている年代だと夜間開催のセッションには非常に参加しにくい。本当に夜の時間帯が必要なのか再検討すべき。また、朝、ランチ、ポスター、午後のセッションと参加するとトイレ休憩も取るのが難しいタイトなスケジュールであり、もう少し余裕が欲しい。
※	移動なく色々な発表が聞ける点はオンライン開催の強みと感じた。会場に入れないで聞くのをあきらめることがないので、良かった。
※	午後18:30~20:00は子供がいる家庭にとって一番忙しい時間帯なので、オンタイムでセッションに参加するのは非常に難しい。当日中限定でもいいので、すべて事後配信をしてもらえるとありがたい。
※	普段だとランチョンセミナーに、展示会もあり、空き時間も非常に有効に使えるのですが、今回はなかなかうまく空き時間を使えず、、といった感じでした(現地に行く必要がない代わりに、横で実験をしながら発表を聞くことができたという意味では有効に時間を使えましたので、メリットデメリットはあるかと思います)。例年のように、広い会場でいろんな部屋を移動する必要はなかったため、気になる演題がぽつぽつとあった場合にいろんなシンポジウムをすぐに聞きにいったのはよかった
※	海外からの演者をオンラインで呼べる時間に、ワークショップやシンポジウムの枠を設ければいいのではないかと思う。
※	似通ったテーマのワークショップが重なってしまいどれに参加するか迷うことが多いと感じた。

質問9. 発表言語について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	日本語と英語のバランスがちょうど良いと感じた
※	通信状況が悪く、聞きとれない、画面がフリーズするなどの問題があったので、特に英語の講演の聴講時には不満があった。事後配信で聴き直せるのは良かった。
※	日本語の方がわかりやすいと思います。
※	ある程度演者に発表環境整えてもらわないと声が聞こえず何をいっているのかわからなくなった。続けるならある程度スライドで内容を追えるようにしてほしい。
※	英語での発表という趣旨には大いに賛同するが、発表者の英語スキルが足りないと感じる発表もしばしば見受けられた。どうにかして発表者の英語スキルの底上げをする必要があるのではないのでしょうか。
※	ディスカッションが加熱してきたときは、日本語と英語の的確な通訳と、がいるような気がします(今回というわけではなく)
※	シンポジウム・ワークショップの言語を英語にする方針自体は良いと思うが、発表者が必ずしもそれに対応できていない事が問題だと思われる。
※	日本人の参加がほとんどであるにも関わらず発表を全て英語で行ったことで、内容の理解が難しくなったり、質疑応答の内容が薄くなっていると感じた。また、口頭発表に挑戦する際の敷居が高くなってしまったのではないかと思う。国際化も大事だが、それによってしっかりと深い議論ができなくなってしまっは、本末転倒ではないか。
※	日本語でも質問しても大丈夫だと学会HPでは告知されていたが、基本質問は英語で行われていたので、オーガナイザーがシンポジウム・ワークショップがスタートする前に「日本語でも質問しても大丈夫」ということを連絡しておくのと良かったかもしれない(特に学生にとって)。
※	精度が低くてもAI自動翻訳があれば良いかも

## 質問10. フォーラムについて（その他）

回答者 番号	その他記述
※	フォーラムも複数聞きたいものがあったので、オンラインで行うのであれば事後配信も行って欲しかった。
※	参加したかったが時間の都合がつけられなかった
※	フォーラムもオンデマンド配信があると良かった。

質問11. 年会の特別企画について、良かったと思うものにチェックしてください <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	参加できなかったのですが、よいと思っているものにはチェックしてます。
※	Meet the Speakersのおかげでセッション後に演者をちょっとつかまえて話を聞くことができ、オンラインのデメリットがかなり解消されたと感じた。
※	Showcaseは登壇したベンチャー企業の多くの経営に、企画主催者の先生が入っており、企画の私物化・自己ビジネス化を感じた。企画自体は良かったが、もう少し学会として公平な立場で行うべきではないか。
※	年会長企画フォーラムが良かった

質問12. オンライン企業展示会・バイオテクノロジーセミナーについて（要望・その他）

回答者 番号	要望・その他記述
※	Lunch on seminarと異なり、聞きに行くincentiveが小さく感じる。ただし、実際に参加したセミナーの内容はよかった。
※	普段の実験で抱いていた疑問など気軽に聞けるのは大変有難かった。ただ、Remoだと会場に入った途端意図しない場所(特定の企業ブース)に飛ばされるので非常にきまずい 是非改善していただきたい
※	オンラインだと参加にかなり心理的ハードルがある。(なんとなくふらっと訪れるということがない) 出展された企業さんは苦労されたと思う。
※	参加できませんでしたが、新しい試みなどなかなか良い企画で学会には必須かなと思います
※	オンサイトでは空き時間にフラッと企業展示を見たりしていたが、オンラインだと空き時間に別の仕事ができるのでなかなか展示を見に行く気にならなかった…。
※	大失敗だったのではないのでしょうか。企業展示会の面白さは、本屋に入って幾つもの知らない本を手取るような楽しさの部分にあるのに、今大会のオンライン展示会では予め見たいと思う会社のサイトの決まった広告を見るだけで、何一つ未知の喜びに出会う楽しみを見出せなかった。

質問13. MBSJ2020 Onlineの視聴サイトや、各種マニュアル・リハーサル機会の設定といった事前の対応、当日のトラブル対応など、オンライン年会のサポート体制についてお聞きします <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	HPで、posterや発表演題を探しにくさを感じた。
※	検索画面からポスターやzoomに直接リンクされておらず、使いにくかった。また、一旦zoomにログインしないとポスターの混み具合(参加人数)がわからない、ポスター説明中に訪問された方を認証する手間は不便、ポスター発表時、特に初日の13:15-13:30頃に通信状況が悪く説明が行えなかった等、不満が残った。他の学会も同じだが、ポスターとオンライン学会は現在のところ相性が悪く、工夫が必要なようだ。
※	フォーラムの説明文も検索できるようにしてほしいです(フォーラムの発表者が検索で出てきません)
※	時間帯になるとプログラムサイトが重く移動がしにくかった。スライドの共有がうまく行っておらず見えなかった発表があった
※	ポスターセッションのページが少し見にくかった。多くの(~50とか)ポスターのタイトルを一覧で表示して、興味のあるポスターを見つけられるとよかったが、そのような機能は見つけられなかった。
※	ポスター発表が始まる前がとてサーバーが重く、なかなか接続できなかった。
※	ブックマークから直接ポスターが見られるところに行けないのが不便だと思った。ブックマークのリンク先に飛んだ後、元のブックマークに戻ると先頭が表示されるのが不便だった。
※	毎回HPの右上にSNS画面が表示されるのが見にくくて困った。一度詳細を閉じるボタンを押しても次のページに移るとまた見えてしまう。
※	zoomでの口述発表に関して、事前確認時間があり、大変よかった。当日、発表者ツールが使えない、スライドが重たくて動きが悪いなどのトラブルに対して、どう対処していいのか困ったが、あとはスムーズにできた。
※	ブックマークへの登録ができないなど、前年からサイト作成に関しては不満がある。外部委託業者の変更・改善を希望す
※	全体的にわかりやすかったが、bookmark内のポスター情報から実際のポスターを見に行くまでの間の道筋には改善の余地があったと感じた。
※	何度も接続が重くなったり落ちたりした。おかげで聞きたかった発表が聞けず、正直、お金返して!と思った。
※	発表者のパワポが発表者ツールのまま視聴者に表示される、といったトラブル時に、オーガナイザー・運営側の対応をマニュアル化しておくのが良いと感じた。またトラブルに備え、事前に念のため運営側にパワポまたはpdfファイルを送っておくのも一案かも知れない。

質問14. 年会終了後の約1週間、すべての一般演題ポスターデータ閲覧と一部のシンポジウム・ワークショップ講演視聴を可能としたことについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	ポスターpdfを開けない演題が幾つかありました。特定の研究室のようですが、大変不公平感を感じました。わざとuploadしていないのか、それともHPの不備なのか判断が付きません。ポスター発表前にあらかじめ予習しておけないし、非常によくないです。ただ、学会終了後1週間もポスターが公開されると聞きました。それは良くないと思います。(学会前に事前承諾を問われていなかったと思う。思い違いならすみません)
※	全演題を後日も閲覧できるようにしてほしい
※	シンポジウム・ワークショップの講演視聴がなぜ一部なのか？講演者に視聴可能を判断させるなら、ポスター発表を含めて全発表者にオンラインで開示するかを判断させるべき。少し不公平に感じた。
※	結局、会期終了後はなかなか見ない。しかし、同時間帯に重なり見逃したセッションを見直せるのは有り難いです。

質問15. MBSJ2020 Online視聴のためのツールのうち、よかったと思うものについてお聞きします <複数回答可>(その他)

回答者番号	その他記述
※	ブックマークとタイムスケジュール表の連動をしてほしい。例年用意していただいていたアプリのほうが使いやすかったので合体させてくれたらかなり楽になる。
※	5.視聴サイトのポスター流し見機能 はうまく機能していませんでした。ポスターをクリックしても見れないものがあった。可能なら各ポスターの要旨ページにポスターのpdfを見れるようにリンクをつけてほしい8視聴サイトのプログラム検索・要旨閲覧機能では戻るボタンを押すと一日目のプログラムに戻ってしまう、など使い勝手の悪い点がありました。オンライン学会だと、これまで以上にHPの使いやすさが気になる。
※	Spatial Chatは良い機能だと思ったのですが、参加者がほとんどおらず残念でした。ですが、初めてのオンライン開催で参加者の交流に様々な工夫がなされたことは素晴らしいと思います。
※	特になし
※	プログラムが見つらなかったです。例年のようにタイトルが一覧になっているものがなかったので、興味のある演題を拾うのが難しかったです。
※	あまり深い興味は無いポスターのZoom Meetingに入って聴衆が自分一人しかいなかった場合に、演者(偉い先生)が延々と説明してくると途中で抜けるのも失礼で何とも気まずかったし、次の視聴予定が狂ってとても困った。

質問16. 今後の年会の開催形式についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	オンライン学会は出張の必要がなく参加しやすい、感染防止対策等、多くのメリットはあるが、セミナー聴講中や発表中にも通常業務が入り集中して参加しにくい、分子生物学会のような大きな学会では聴講や発表が通信状況に左右されるというデメリットがある。個室を持たない身分では周囲への配慮および周囲からの配慮が必要なので、オンサイトの方が集中して参加できる。また、オンラインでは新たな人間関係の構築、共同研究への発展などにハードルがあるように思われる。
※	ハイブリッド開催がよいと思います。育児や介護をしながら研究活動をしている研究者も多いので、オンラインでの発表は、そういった方たちの学会参加の機会を増やすので良いと思います。一方で、オンサイトは学会会場外での親密な議論が可能で、普段はつながりにくい海外の研究者とのつながりを作る良い機会になりますので、オンサイトも残したほうがよい。
※	オンラインも色々なメリットがあり、そう悪くないと思えました。ポスター発表者でもビデオをONにしていなかった方がいましたが、発表者・視聴者ともにONだとオンサイトに近い良さが出ると思います。
※	質疑応答などは、テキストベースのメリットがかなり大きいと思う。また、オンラインだとスライドが見やすい(オーディエンス側が大きいモニターを使えばいいだけ)のも良い。口頭発表だけに限るなら、オンサイトよりもオンラインの方が優れていると思う。一方で、ポスターセッションや企業展示は盛り上がりに欠けたものだったので、その部分をどうにか改善できれば今後さらに良いものになりそう。オンラインのメリットとしては、研究者同士の直接の交流以外にはあまりないかもしれない。
※	コロナの状況にもよるが、オンラインは継続した方が良い。ただし、発表者がオンライン配信を許諾するかどうか選べる方が望ましい(主に情報セキュリティの観点から。情報漏洩リスクの低い研究からパテントなど機密性が高い研究まで幅広いので、オンライン配信に関して画一化する事は避けるべきだと思う。)
※	比重はともかくオンライン併用は良いと思います
※	コロナの状況に依ると思う。今回オンラインで参加してみて、今後の新しい形として、オンラインは良いと思う。ただ、ディスカッションしにくいという点は、改善する必要がある
※	やはり現地開催の方が「研究の熱」のようなものに触れやすいなと思いました。今回、学会に初めて参加する研究室の後輩に発表を勧めて、一緒に参加しましたが、オンラインではなかなかそういう空気感のようなものには触れられず、私自身が学生のときに分生に参加したときその醍醐味のひとつに、「研究の熱」みたいなものに触れられること、というのがあり、若い学生にとってはそういうものに触れる場という意味での学会も大事なのではないかなと思います。
※	感染症の状況次第
※	オンライン開催領域は全てオンデマンド視聴できるようにし、聞きたい発表のための時間と労力の節約をさせてほしい。
※	オンライン年会は地方在住・子持ち研究者には大変有難いです。オンラインでなければ参加しない可能性もあります。一方で、ポスターセッション等オンサイトならではの議論・交流の場も重要だと感じます。ハイブリッドで、参加費を分けるのが良いかと思います。(ハイブリッドの場合、オンサイトの参加者同士は交流できても、その分オンライン参加者は意見交換・交流がしにくいと思われるため。)

質問17. 年會をオンライン開催またはハイブリッド開催(オンラインプログラムとオンサイトプログラムの併用)とする場合、「未発表データを前に議論したいが、発表資料を不正に複写・撮影等されることへの懸念がある」との声が聞かれます。講演の事後配信や一般演題のポスターデータ揭示についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	ポスターpdfを開けない演題が幾つかありました。特定の研究室のようですが、大変不公平感を感じました。わざとuploadしていないのか、それともHPの不備なのか判断が付きません。オンサイトなら写真を撮る人はほぼいないと思いますが、PCの画面を撮影されてもわからないので未発表データを出すのは躊躇します。
※	ポスターおよびプレゼンテーションどちらに関しても、キャプチャ等を完全に抑止する事は原理的に不可能なので、発表者の裁量にゆだねられるべきだと思う。
※	たとえダウンロードが出来ないとしても、PC画面の写真を撮ってしまえばdataはとれるので少し不安を感じた。
※	シンポジウムは事後配信しても良いが、ワークショップは許可しない。ダウンロードできないようにしても、カメラで撮影出来るので意味がない。

質問18. その他、年会全般についてのご意見があればお書きください

回答者番号	意見記述
※	この年会の内容であれば、高いと感じた。
※	この年会の内容だと、安いと感じた。
※	やっぱりオンサイトの方が、コミュニケーションがしやすいので、よいと思います。アフターコロナに期待したいです。
※	オンラインだけの内容なら高く感じた。
※	正会員です。旅費も節約できましたので、年会参加費は高いとは思いませんでした。参加しやすかったです。
※	オープンアクセス以外の論文の図も引用したかったので、出版社とオンライン配信期間中だけ特別な契約を結んで欲しい。今回、システム上ダウンロードできないようになっていたが、PCの画面をデジタルカメラで撮影できるので、プロテクトにはほとんど意味がない。
※	参加前は高いと感じましたが、オンライン実施にはこのくらいお金がかかるのも仕方ないのかもしれませんが。ポスターpdfを開けない演題が幾つかありました。特定の研究室のようですが、大変不公平感を感じました。わざとuploadしていないのか、それともHPの不備なのか判断がつかません。学会終了後もポスター公開期間中に是非改善していただきたいです。様々な理由で学会に参加しづらい立場にはオンライン学会は大変有難い機会でした。組織委員会の先生方大変お疲れ様
※	一部のセッションを除き、日本語での開催を希望します。
※	オンライン交流会ができるのには、感動したが、使い方が良く分からなかった。
※	オンライン要旨などのシステム改善を希望する。
※	難しい状況の中で柔軟にオンラインに切り替えて年会開催を叶えてくださった上村先生、関係者の皆様に深く感謝いたします。従来の学会では(もちろんオンサイトのメリットの大きさは承知ながら)、育児中の自分にとって出張中の子供の世話の手配や子供の急病の心配などの大きなハードルを常々痛感していたこともあり、今回はオンライン開催のありがたさを感じました。オンライン形式の年会はダイバーシティー推進に資することだと思いますので、コロナ感染状況の今後の動向に関わらず検討が続けられることを願います。旅費が浮いたこともあり、参加費は非常に安く感じました。学生の額を低く設定していただいたのも特によかったと思います。
※	この年会の内容であれば安いと感じた
※	オンライン開催であれば、年会費は高いと感じた。またコロナ禍で仕方がないが、オンライン開催は全然盛り上がってなかった。完全に失敗だと思う。
※	オンライン開催で参加費が安かった点、また現地に行かなくて済むため交通費・宿泊費もかからない点で、学生にとっては経済面でとてもありがたい学会だったのではないかと思います。ID・パスワードを他人と共有しているというような噂は周りからちらほら聞こえてきましたので、どうやってそういう不正(?)を防ぐかは課題かなと思います。
※	今回の発表内容であれば、かなり安く感じた。日本におけるオンライン開催の値段設定的に安くならざるを得なくなるのも理解できるが、来年以降、例年通りの値段設定にしても十分納得できる内容だったと思う。
※	大会運営委員会の皆様は本当にお疲れ様でした。このような困難な状況下で本当によく頑張ったと敬意を表します。ですが、視聴システムのトラブルや不完全さ、また通常のオンサイト開催のあの熱気の喪失などについては、オンライン開催は完全に失敗だったと言わざるを得ません。ただただ失望感でいっぱいです。
※	オンラインだと事前にポスターを提出できるので、学会ポスター賞を復活させても審査員はじっくりと評価できると思います
※	発表しない大学院生は、会員でなくても安くなる仕組みがあれば、とりあえず学会に参加してみることができるようになると思います。特にオンラインの場合は移動がない分参加しやすいため。
※	上村先生はじめ、オンライン年会の開催に工夫を凝らしていただき、ありがとうございました。オンライン年会は地方在住・子持ち研究者には大変有難いです。オンラインでなければ参加しない可能性もあります。今回は出張費がかからずに済んだので、この値段で参加できたのは安いと感じました。一方で、ポスターセッション等オンサイトならではの議論・交流の場も重要だと感じます。今後、ハイブリッド開催を検討していただけると有り難です。